

## 会長あいさつ

会長 **小宮山 宏** (東京大学長)



**地** 球環境問題をはじめグローバルな問題が深刻となる中、これを前提とした社会発展をしていくために、国際社会の協調的な取り組みが進められています。それと同時に、このような限定条件の中でそれぞれの国家が発展を持続するために、国家の競争力の源泉である高等教育機関の国際的な競争が激化しています。

我が国政府においても高等教育に関する検討や諸施策がさまざまに展開されています。これと並行して、我が国の大学もそれぞれに、優れた教育研究の実施に向けた改革を努力・実践してまいりました。しかし、大学改革の動きは更に深化しており、我が国の特色ある各大学にはそれぞれ実効性の高い独自の取り組みが求められております。

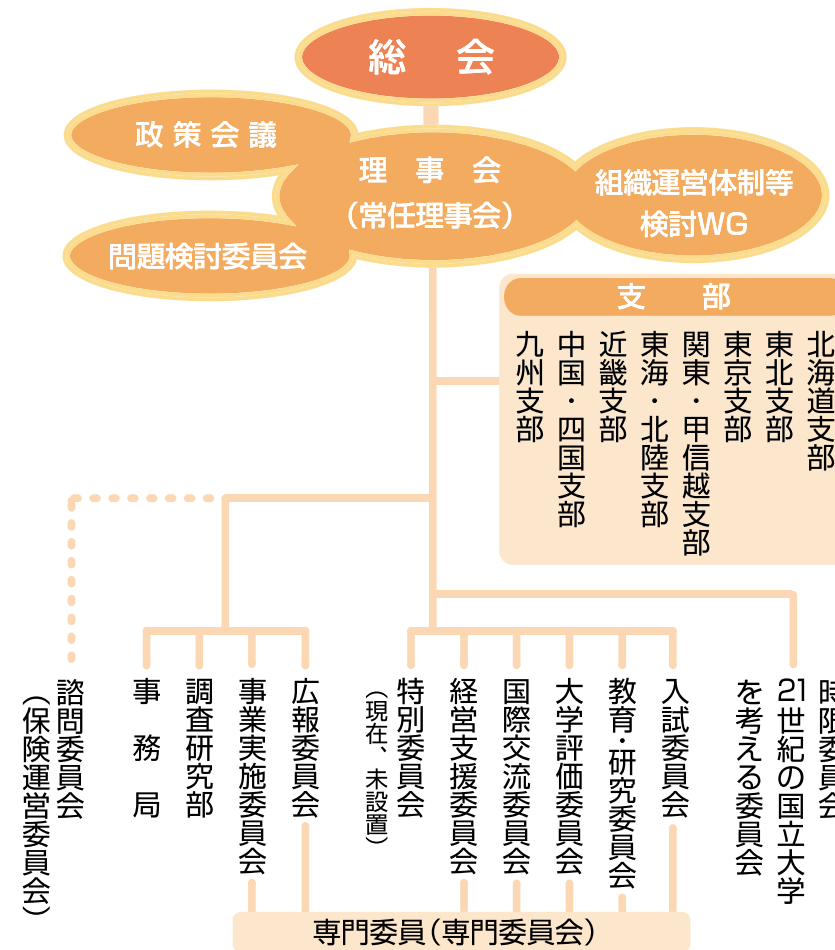
このような国際的な課題解決と切磋琢磨の環境の中で、我が国の国立大学の担うべき役割は二つあります。すなわち、世界レベルの競争に打ち勝つ「ナショナルセンター」としての役割と、地域の活性化に貢献する「リージョナルセンター」としての役割です。国立大学はこれまで、卓越した研究とそれを反映した教育により世界に伍する一方、地域を支える高度な専門職人材を育成する中核となると同時に、地域の知の拠点となってまいりました。国民の皆様のご理解・ご支援を得つつ、この両方の役割を実現し、国の発展に重要な貢献をしてきたものと自負しております。

国立大学の使命は、まさにこれらの役割をより高度なレベルにおいて実現していくことにあります。しかし、この役割を実現するための環境は、大変厳しい状況であります。産業界をはじめとする有識者の方々の発言、新聞紙上の評論などを見ると、国立大学の活動が社会に十分認知されていないことがうかがえます。また、諸外国と比較して高等教育への投資の絶対量が少ないにもかかわらず、国立大学への基盤的経費の支出や私立大学への補助金は毎年減少する傾向にあります。諸外国が国際競争力の強化のために高等教育への投資を増加させている中で、この影響は甚大です。

本協会はこれらの状況を打破すべく、「日本の人材養成と学術研究のために、国立大学は全力を尽くす」を基本方針とし、これまで以上に積極的に活動していく所存です。特に、国立大学として教育・学術研究をはじめとする活動を活性化し、そのビジビリティ（可視性）の向上に努めます。個別の国立大学法人における経営の高度化や教育研究の改革を全面的に支援します。これらの活動を通じて、我が国高等教育の発展のために尽力してまいります。

今後とも全国の国立大学へのご支援ならびに本協会への温かいご指導をお願い申し上げます。

## 組織図



## 役員等名簿

| 役 員       | 名 簿                       |
|-----------|---------------------------|
| 理 事(会 長)  | ・ ・ ・ ・ 小宮山 宏【東京大学長】      |
| 理 事(副会長)  | ・ ・ ・ ・ 梶山 千里【九州大学長】      |
| 理 事(副会長)  | ・ ・ ・ ・ 井上 明久【東北大学長】      |
| 理 事(専務理事) | ・ ・ ・ ・ 赤岩 英夫【群馬大学名誉教授】   |
| 理 事(常務理事) | ・ ・ ・ ・ 早田 憲治【国立大学協会事務局長】 |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 佐伯 浩【北海道大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 本間 謙二【北海道教育大学長】   |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 平山 健一【岩手大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 高井 陸雄【東京海洋大学長】    |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 岩崎 洋一【筑波大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 鈴木 守【群馬大学長】       |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 長谷川 彰【新潟大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 平野 眞一【名古屋大学長】     |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 林 勇二郎【金沢大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 尾池 和夫【京都大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 鷲田 清一【大阪大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 野上 智行【神戸大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 浅原 利正【広島大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 青野 敏博【徳島大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 崎元 達郎【熊本大学長】      |
| 理 事       | ・ ・ ・ ・ 飯田 嘉宏【横浜国立大学長】    |
| 監 事       | ・ ・ ・ ・ 出塚 清治【東陽監査法人代表社員】 |

| 会 長 補 佐 | 名 簿            |
|---------|----------------|
|         | 相良 祐輔【高知大学長】   |
|         | 下村 輝夫【九州工業大学長】 |

## 事業内容

### ●わが国の高等教育政策等に関する政策立案・提言、意見表明等

- ・ 高等教育・学術研究政策等に関する諸課題について調査研究、政策提言
- ・ 国立大学法人制度の運用、国の財政支援等に関する諸課題の協議、改革・改善の要請
- ・ 高等教育・学術研究や国立大学を巡る諸課題に関するセミナー等の実施

### ●国立大学の質の高い教育・研究の実施と社会貢献を推進するための環境整備

- ・ 国立大学の入学者選抜の在り方に関する調査・検討、入試実施要領等の検討・決定
- ・ 質の高い教育・研究等に資するための情報収集、諸課題について調査・検討
- ・ 国立大学法人の業績評価や認証評価に関する対応、調査研究、評価結果の追跡調査、検証、シンポジウムの実施
- ・ 大学の国際化に対応した、国の留学生政策や大学の自主的国際交流推進における整備充実方策等について調査・検討

### ●国立大学法人の経営に関する支援

- ・ 人事・労務、財務・施設、病院経営等の諸課題に関して調査・検討し、関係機関等に対する提言・要請
- ・ 大学経営に関する参考資料や情報提供による支援
- ・ 国立大学法人の役職員を対象としたセミナー、研修等の企画、実施及び支援
- ・ 国立大学法人のリスクマネジメントの支援と総合損害保険制度の運用・改善

### ●国際交流に関する推進・支援

- ・ 会員参加による諸外国の学長会議等諸団体との交流事業の実施
- ・ 公私立大学関係団体と連携・協力し、諸外国の大学関係団体等との国際交流事業の実施
- ・ 学生交流のための国際機構等の国内における活動への支援

### ●調査研究活動

- ・ 国立大学を取り巻く諸課題に関する現状分析、将来展望等についての調査研究及び基礎的資料収集等

### ●その他目的を達成するための必要な事業

- ・ 国立大学及び本協会に関する広報活動
- ・ 緊急に対応すべき特定分野の問題に関する調査・検討への対応
- ・ 本協会支部の自主的な活動に対する支援